

# 令和5年度（2023年度）第2回川口中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和5年（2023年）7月29日（土）9:30～12:00
場所	川口中学校 東校舎1階 被服室
出席者	参加者：荒木、稲原、高野、外山、内藤（佳）、内藤（妙）、中尾、中村、平井、古田、前川 高齢者あんしん相談センター川口：乙幡、小林 高齢者あんしん相談センター恩方：長内 はちまるサポート川口：小峯 川口中学校校長：鷺尾 青少年若者課（児童館）：井垣、遠藤 地域づくり担当：新納、伊東、興梠、三井、松下、和田
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料1 推進会議の役割・機能について</li> <li>・ 資料2-1 八王子市地域づくり推進会議モデル試行実施要綱（令和5年7月改正（案））</li> <li>・ 資料2-2 八王子市地域づくり認定団体の設立の届出に関する要綱（案）</li> <li>・ 資料3 前回ワークのふりかえりと地域自治モデル検討の見通し</li> <li>・ 資料4 部会報告</li> <li>・ 資料5 地域の現状・課題などについての意見交換</li> </ul>

## 1 開会

事務局より挨拶、資料確認

## 2 推進会議の役割・機能について

### (1) 推進会議の役割・機能

事務局から、資料1、資料2-1及び資料2-2をもとに説明。

（説明内容）

- ・ 推進会議は要綱で規定しているが、資料1のP.3にある組織の枠組みに整理するための改正案が資料2-1「八王子市地域づくり推進会議モデル試行実施要綱（改正案）」である。
- ・ 資料2-2「八王子市地域づくり認定団体の設立の届出に関する要綱（案）」は推進会議をベースにつくる活動・イベント等の組織について規定するものであり、この要綱に基づき団体に届出をしてもらい、市が認定することで活動に対する支援を受けられるようにするなど、活動しやすい団体をつくることを目的とするものである。
- ・ この活動・イベント等の団体における会則を制定することになる。会則で規定する内容については今後議論したい。

### (2) 推進会議の参加者について

役員会の中で、地域自治モデルの検討を行うにしても現状のメンバーだけでなく、もっと幅広い参加者が必要なのではないかという意見が挙がっている。

（詳細は「3 地域自治モデルの検討の進め方について」で説明する。）

### (3) 推進会議で目指すものとは何か？

推進会議が目指すものについて、改めて共有を図るため、資料1に基づき事務局から説明。

（説明内容）

- ・ 推進会議での検討を通して八王子未来デザイン 2040 で掲げる「地域自治」を目指していくという説明をさせていただいているが、「地域自治」の解釈が人によって異なる現状がある。
- ・ そのため、八王子市における地域自治とは何か？ということ、推進会議での「地域自治モデル検討」として考えていきたい。
- ・ 資料1の P.9 にあるとおり、地域自治モデルを検討するうえでの様々な検討項目（何をやる？どういう組織？等）ごとに、いくつも選択肢があると考えている。それぞれ何を選択するかによって、P.10（例1）やP.11（例2）のように異なる組織の形が考えられ、市としては、川口中学校区の皆さんがどのような組織を考えるのかということ、この推進会議の中で知りたいと考えている。

（質疑内容）

- ・ 「八王子市地域づくり推進会議モデル試行実施要綱」について、推進会議の定義として「原則、中学校区」とあるのは、中学校区外からの参加者を入れることや、必要に応じて複数中学校区が合わさって推進会議を設置することも可能ということか？  
⇒ （市）そのようなことを想定している。どのような形にするかは今後皆さんと相談していきたい。

地域自治モデルの検討と並行して、市における地域づくりの制度設計として、これまでの推進会議の取組で見えてきた課題や、今年度からスタートしている八王子未来デザイン 2040 を踏まえ、令和元年度に策定した「地域づくり推進基本方針」を改定すべく、「地域づくり推進基本方針改定懇談会」を設置している。

懇談会には4中学校区の推進会議参加者にも参加してもらっており、本推進会議参加者として荒木氏に参加いただいているため、7月26日に開催した第1回懇談会に関して、以下のとおり荒木氏より懇談会の感想を伺った。

- ・ 懇談会で出た意見は、子どもの意見を取り入れることや、中学校区外の地域との関わりなど、これまで川口の推進会議で議論してきた内容が多いと感じた。
- ・ 懇談会の参加者の中には市の関連所管の管理職もおり、地域づくりに対する市の本気度が伺えた。

懇談会の状況については今後の推進会議の中で共有する。なお、市HPにも随時情報を掲載していく。

### 3 地域自治モデルの検討の進め方について

資料3に基づき事務局から説明。

#### （1）前回ワークのふりかえり

前回は行ったワークの内容を振り返りつつ、結果を共有した。

（説明内容）

- ・ 前回は行ったワークのねらいは、「地域自治」に対する共通理解を高めることであった。
- ・ ワークを通して皆さんに考えてもらった結果について、深掘りしてわかることもあるが、この人数で行ったワークの結果で、「川口中学校区の結果」と言うのは難しいと思う。
- ・ そこで、市としては、川口版地域自治モデルを検討していくうえで、広く参加者を募集して、

ワークショップ形式で検討を進めるのはどうかと考えている。このワークショップを契機として、推進会議のメンバーを増やすことにもつなげていければ。

(質疑内容)

- ・ 子育て中の人の意見を聞いていきたく、そのような人に参加してもらうには託児サービスが必要ではないか？
  - ⇒ (参加者) 中学校区内にある保育園にお願いして、職員を派遣してもらうことはできないか。
  - ⇒ (市(児童館)) 児童館における託児は、保護者がついていることが前提となる。託児ではなく、推進会議に参加しながら子どもをみることができればいいかもしれない。
- ・ 参加者を募集する際、町内会の回覧等で回しても、内容が難しいのでそれを見て来ようと思う人は少ないのではないか。最初は個別に声掛けをして参加者を募る形でもいいのでは。
- ・ 具体的な活動に繋がるワークショップであれば人は集まると思うが、地域自治モデルの検討という漠然としたテーマでは難しいと思う。
  - ⇒ (参加者) 農地のことや子どものことなど、テーマを絞ったワークショップにするのはどうか？
- ・ 今年度の推進会議では、推進計画の中で定めたアクションプランについて話し合っていくものと思っていた。コミュニティカレンダー部会が現状活動できていないという課題もあり、そういったことを全体会の中で話し合っていくべきではないか。
  - ⇒ (市) アクションプランに関しては、それに基づいて現在各部会で取組を進めていただいております。全体会において共有するという形をとっている。
- ・ 推進会議の中では、これまでにできてきている課題を一つずつ解決しながら、実績を作っていくことがまずは必要なのではないか。それにより推進会議の認知度を上げていくことが参加者を増やすことにもつながると思う。
  - ⇒ そういったことを、推進会議の役割・機能の説明で話のあった、活動・イベントを行う団体(今の体制であれば部会)で実施すればいいのではないか。  
推進会議では地域自治に対する地域の人々のイメージを確認するなど、行政と地域のあり方を考えていく必要があると思う。

## 4 各部会の活動状況等の共有

### (1) 地域防災部会

- ・ 7/26 はちまるサポート川口において、川口地区の消防団の各部長から、最近の災害に関する情報を説明してもらい、課題整理を行った。
- ・ 課題としては、主に以下の5つがある。これらの課題について整理し、最終的にはハザードマップに落とししていきたい。
  - ◇ 上川地域に風水害の避難所がないこと
  - ◇ 川口地域には消防車が入れない狭い道路が多く、消火器配置の啓発が重要
  - ◇ 山入川、川口川流域では水が溜まってしまう場所に住む住民への避難周知
  - ◇ 町会と消防団の連携が必要
  - ◇ 町会会員以外への防災訓練等の周知
- ・ 次回は9/28に会議を開催する予定。

## (2) マルシェ部会

- ・ 7月に都主催の「マルシェのマルシェ」があり、川口を知ってもらうこと、そして他のマルシェとのつながりをつくることを目的として参加した。
- ・ 仕事をしながら短期間で保健所とのやりとりをすることは大変に感じた。
- ・ 今回、川口マルシェの周知ができたこと、他のマルシェとのつながりができたことは成果。
- ・ ただ、マルシェの開催を続けていくことは負担も大きいので、できるだけ一緒にやってくれるメンバーが欲しい。
- ・ また、ホームページや SNS など周知の場所が欲しいが、そういったことにも資金が必要というのを改めて痛感した。資金をつくるためにも、活動組織の設立に取り組みたい。
- ・ 次回は 9/16, 17 にアルプス橿原店でマルシェを開催する予定。11/4, 5 には川口やまゆり館まつりでのマルシェを開催する。

## 5 地域の現状・課題などの意見交換

部会ごとに分かれて、現状の課題認識などについて意見交換を行った。

## 6 閉会

以上